



市の健康診断表で見つかった大腸がん



友人 Yさんから話を聴きました。

市の健康診査票用紙を使ってI病院を訪ねたのが2年前のことでした。

医師から2日分の便を採ってくるように指示され、その結果大腸に異常があることが分かりました。

内視鏡検査を受けることになり、大腸がんがあることが判明、その上、胆嚢に胆石があることも。結局入院し、手術を受けたのです。

大腸の上のほうだった由で、少し長く切除されたとか。さらに胆石も同時に切除する手術だったため、入院は40日に及んだとのことでした。

今は抗がん剤を2週間服用し、一週間休むという生活になったそうです。

Yさんの話の結びは「結局早期発見ですよね！！」。もしも、市の検査用紙がなかったら、あるいはそれを貰っても利用しなかったら大変なことになっていたかもしれません。

体調の異変に気付き、病院に駆けつけた時は、すでに手遅れですという例が沢山あります。

<私は大丈夫>という気持ちが一番危険です。

つながりフェスター府中市民協働まつりに参加します。

11月22日(日)午前10時から午後4時まで。

グリーンプラザ5階に「相談コーナー」を出します。

当日の運営にご協力いただける方はご連絡ください。

開催日
11月21日(土)・22日(日)
午前10時～午後4時

会場
府中グリーンプラザ
府中駅北口広場
フォーリス光と風の広場
フォーリスけやき広場

What's New
2015/09/15 [楽しみ方のページを公開しました！](#)
2015/09/13 [つながりフェスタFacebookページを設置しました。](#)

在宅サポートハウス 山の上(高齢者向け賃貸住宅)見学記

市原美幸

去る3月18日、日野市豊田駅近くにある、山の上ナースステーションに役員7名でお邪魔しました。笑顔で迎えてくださったのは、株式会社ラピオン代表取締役の柴田美奈子さんです。柴田さんに案内され、住宅街を抜けて徒歩10分足らずの所にある、「在宅サポートハウス山の上」を見学しました。鉄筋3階建て、日当たりの良い立地です。もともと高齢者用住宅として建てられているので、バリアフリー、エレベーター付きで、エントランスや、廊下には素敵な装飾が施されています。ベージュ系の落ち着いた雰囲気、お部屋は、キッチン・バス・トイレ付の日当たりの良いワンルームです。平成26年5月にこの建物を1棟借りし、在宅ホスピス・医療ショート・在宅移行支援を目的とした施設として運営されています。居室13のうち、1部屋はショートステイ用。1床は緊急用。2階に山の上ヘルパーステーション、1階には、森の木リハビリステーション(通所介護)が併設されています。

* 概要 *

通常のショートステイでは受け入れが難しいとされる医療依存度の高い方や、がんの末期と診断され、緩和ケアを希望される方、退院直後の生活に不安がある方などが安心して「自分らしく」過ごすことができるよう、24時間介護士または看護師が常駐し、生活の支援を行っています。

この施設は民間アパートと同じ契約上の扱いとなるため、入居の為には賃貸契約をし、介護保険サービス(訪問介護や訪問看護)や、医療保険サービスを利用します。

家賃は、7万円+管理費3万円と、要介護度により、介護保険利用料と、自費サービス料合わせて月に12~17万円、ショートステイの利用は1日5~7千円です。

* 対象となる方 *

- 1) 人工呼吸器や医療機器が装着され在宅療養をされている方のレスパイト(乳幼児や障害者、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス)
- 2) 吸引や経管栄養、点滴、インスリン注射などの医療的な処置が必要な方
- 3) がんの末期と診断され緩和ケアを希望される方
- 4) 在宅での看取りを希望される方



- 5) 退院直後の生活に不安があり、1ステップ置きたい方
- 6) 毎日のリハビリを希望される方
- 7) 低所得者、生活保護で在宅生活が困難な状況の方

自宅のように自由に過ごしながらも、支援が必要なときは、部屋にあるブザーを押すと、併設のヘルパーステーションから介護士さんがすぐに来てくれます。

また、必要時には、定期の訪問以外にも24時間体制の訪問看護師や往診医がすぐに駆けつけてくれます。協力病院やクリニックもあり、医療連携は整っているとの事です。

柴田さんに導かれ、ある男性のお部屋にお邪魔しました。

その方は、病院に入院中は寝たきりの状態でしたが、こちらに住むようになり、10日程でベッドから車椅子への乗り降りが可能になったとの事です。日増しに元気になっていく様子や、ヘルパーさんがすぐに来てくれるので安心であると笑顔で話しておられました。

柴田さんからは、一棟借りの費用や諸経費等を差し引くと、利益性は期待できず、法的な位置づけがないため、報酬が不安定であり、施設単独での運営は難しいとの事です。

しかし、利益にかかわらず、まだまだ受け皿の少ない環境をあえて提供し、必要とされる方々への支援をされる柴田さんの志と、行動力には心から敬意を表したいと思います。

サポートハウス山の上については総会講演会において柴田さんにお話をいただきました。報告内容は通信23号をご覧ください。

患者会より

患者会は6月27日15回、7月26日16回、8月30日17回、9月27日18回と回を重ねるごとに新しい方が参加されています。患者会の在り方についてはまだまだ不十分なところもありますが、これからも議論を重ね、より患者さん、家族に寄り添った集まりにしたいと考えています。

今後の予定（ルミエール府中 第1会議室）

10月25日 午後1時半～午後3時半

11月15日 午後1時半～午後3時半

がんケア豆知識 第4回 「がんの病期」

訪問看護師 宮田乃有

がんには病期・進行度があり、「～期」「ステージ～」と呼ばれていることは知られていますが、「IV期＝末期」など、その意味については誤解もあるようです。

がんであると告げられて、「頭がまっしろ、になってしまった」というお話をしばしばお聞きします。続けて「ステージは～です」、と説明を受けても、数字のインパクトばかりが残ってしまい、がんの状態や、病期を知る意義まではなかなか伝わらないことがあります。

がんのステージは0からⅠ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの5段階があり、ステージⅣが最も進行した状態です。がんの部位によってはさらに細かい分類もありますが、基本的には1. がんの大きさ(広がり)、2. リンパ節への転移の有無、3. 他の臓器への転移の有無を組み合わせて分類されています。

- ◆ステージ 0 :がん細胞が粘膜内(上皮細胞内)にとどまっており、リンパ節に転移はしていない。
- ◆ステージ Ⅰ :がんの腫瘍(かたまり)が少し広がっているが、筋肉の層までとどまっており、リンパ節に転移はしていない。
- ◆ステージ Ⅱ :リンパ節に転移はしていないが、がんの腫瘍が筋肉の層を超えて少し浸潤(しじゆん) (広がること)している。またはがんの腫瘍は広がってはいないが、リンパ節に少し転移している。
- ◆ステージ Ⅲ :がんの腫瘍が浸潤しており、リンパ節に転移がみられる。
- ◆ステージ Ⅳ :がんがはじめにできた原発部位を超えて、離れた臓器へ転移している。

がんのステージがⅠ期であれば、ほとんどのがんで5年生存率が80～90%を超えますが、ステージが進むほど5年生存率は下がってきます。

しかし、「ステージ」はあくまで「がんの進行度」を示すものであり、患者さんの「命の長さ」を示すものではありません。マスメディアなどでは、「ステージⅣ(末期がん)」と示されているのをしばしば見かけますが、Ⅳ期は「がんの進行度としての最高段階」という意味であって、**患者さんの生命予後を意味する「末期(余命6カ月以内)」ではない**ことを強調したいと思います。

どのステージであっても大切なことは、がんの状態を理解し、医療の不確実性もふまえながら納得のいく治療法を選択し、よりよい療養生活を送るためにきちんと症状を緩和することです。

・がんのきほん：<http://www.gan-info.com/20.html>

・がん情報サービス：<http://ganjoho.jp/hikkei/chapter3-1/03-01-03.html>



編集後記 私のお客様AさんがB病院で胃がんの告知を受けましたが、病院不信のためC病院を受診したところ膵臓の病変を発見されました。結局D大学病院を紹介されました。最初の診断・治療計画がいかに大切かを思い知りました。あの川島なおみさんが、千代の富士ががんです。「健康だからがんにはならない」とは言えません。

武智

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0004 東京都府中市紅葉丘3-33-4 駒ヶ嶺 泰秀 電話・FAX 042-302-2607

Mail: ktakechi@fa2.so-net.ne.jp (武智)